

令和6年度 森林環境譲与税の使途について

(野々市市)

事業区分	事業名	(A) + (B) + (C)	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
			(A) うち令和5年度森 林環境譲与税 (千円)	(B) うち基金取崩額 (千円)	(C) うち他の財源 (千円)			
基金積立	森林環境保全基金	6,976	6,976	0	0	木材を利用した公共施設整備及び森林の大切さを普及啓発する事業を実施する事業費を確保するために基金に積み立てるもの。		
木材普及啓発 関係	ののいち木のぬくもり 住宅	512	0	512	0	市内に居住するため石川県産材を活用して木造戸建て住宅を新築（購入も含む）または増改築する方に対し最大25万円（柱1本あたり2,500円）補助金を交付するもの。	申請5件、交付2件	当市は山林がない自治体であることから、本税を公共施設整備及び木材利用啓発推進事業に活用することとして取り組みを進めていく。
木材普及啓発 関係	ののいちっ子木育事業	2,819	0	2,819	0	新生児の保護者に対し、木材玩具を贈りお祝いするとともに、石川県産材の利用を促す。当市には森林がないが、七ヶ用水を水源とした水源地の森林の恩恵を受けていることから、水源上流にあたる白山市の木材を活用するもの。	積み木セット550個を製作	令和6年度は昨年からの継続事業「ののいちっ子木育事業」や「ののいち5万人あいさつ運動の木製バッジの製作」に加え、新規事業「ののいち木のぬくもり住宅」を展開し、木材普及活動に努めた。 さらに、保育園を始めとする公共施設の老朽化が進んでいることから、大規模改修工事の予定にあわせて、一部の木質化や、建物内に設置する備品等に石川県産材の活用を推進しており、「野々市市文化会館フォルテ」の大規模改修工事に併せて、エントランスロビーに石川県産材を使用したベンチを設置し、市民に木材の良さと森の大切さを伝える機会を設けた。 残額は、今後の公共施設整備及び木材利用啓発推進事業に活用することとし、基金に積み立てた。
木材普及啓発 関係	青少年健全育成地域活 動推進事業	200	0	200	0	野々市市『愛と和 ののいち5万人あいさつ運動』における、木製バッジ（現在は缶バッジ）を全児童・生徒に配付し、子どもたちにSDGsを身近に考えてもらう機会につなげる。また運動の推進主体である団体「“ののいちっ子を育てる市民会議”」と連携・協働して、SDGsの推進に努める。森林保護の観点から、石川県産材の杉の間伐材を使用するもの。	木製バッジ500個を製作	
木材普及啓発 関係	フォルテ大規模改修	2,613	0	2,613	0	文化会館フォルテの大規模改修に併せ、エントランスロビーに石川県産材を使用したベンチを設置。被災した能登を支援するため、能登産の杉を使用するもの。	ベンチ10脚分	